

クラスター	神経科学系クラスター		
授業科目名	脳神経解剖学		
担当者名	責任者	板東 良雄	分担者
単位数	1単位(選択)		配当年次
授業形態	講義		実施場所
開講期間	2024年10月～2025年3月(非常勤講師以外の日程の詳細は応相談)		
開講曜日・時間	毎週月曜日 18:00～21:30(非常勤講師以外の日程の詳細は応相談)		

授業の概要・到達目標

授業の目的:ニューロンや種々のグリア細胞の機能異常が各種神経疾患にどのように関わるかについて理解する。

授業の到達目標:最新の知見に基づいて神経疾患の病態を説明できることを目標とする。

授業の概要:

1. 免疫組織学法を用いた神経化学・神経組織学的研究法について概説する。
2. グリア細胞の機能異常が神経疾患とどのように関連しているかについて概説する。
3. 認知症などの神経変性疾患や多発性硬化症における軸索変性や脱髄の病態について概説する。
4. チャネル・トランスポーターの機能異常と神経疾患の病態について概説する。
5. グルタミン酸とグルタミン酸トランスポーターの中枢神経系における役割について概説する。

	講義題目 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	グリアと神経疾患(1)	木山 博資 (非常勤)	(名古屋大学) 〔基礎医学研究棟 第二会議室, Zoom〕
2	グリアと神経疾患(2)		
3	チャネル・トランスポーターと神経疾患(1)	鶴川 眞也 (非常勤)	(名古屋市立大学) 〔基礎医学研究棟 第二会議室, Zoom〕
4	チャネル・トランスポーターと神経疾患(2)		
5	免疫組織学法を用いた神経化学・神経組織学的研究法	板東 良雄	形態解析学・ 器官構造学 〔講座研究室, Zoom〕
6	神経変性疾患の病態		
7	中枢性脱髄疾患の病態	板東 良雄	形態解析学・ 器官構造学 〔講座研究室, Zoom〕
8	グリアと精神疾患		
9	グルタミン酸とグルタミン酸トランスポーター(1)	渡辺 雅彦 (非常勤)	(北海道大学) 〔基礎医学研究棟 第二会議室, Zoom〕
10	グルタミン酸とグルタミン酸トランスポーター(2)		

授業形態および成績の評価方法・基準

講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間,計45時間で1単位とし,評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名,メールアドレス等)

板東 良雄, ybando@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など,勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整(録画視聴など)に応じるが,事前に相談すること。

外部講師による講義については外部講師の予定を優先し,改めて日程調整を行う。

(来学可能時期により,講義の一部は前期に開講することもあり得る)

講義方法についてもZoomを用いた遠隔講義などに変更となる場合もあり得る(変更の際は連絡します)。

教科書・参考文献:特にないが,必要に応じて資料を配付する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた学習を行うことが望ましい。